

## (6) 自己注射

- ① ヒューマリンN注射液 (U-40) 10ml 1瓶  
1日2回 朝14単位 タ10単位
- ② BDプラスチックバック注射器 (U-40) 28本

```
MSH|.....<CR>
PID|.....<CR>
ORC|NW|2001^ORDER||12345678-1||E|^BID^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^タロウ
^^^^L^P||||||DCG^退院処方^MR9P<CR>
RXO|3456789X3456^ヒューマリンN注射液 (U-40) 10ml^JMD-199712|10|12|UNT^単位^MR9P|INJ^
注射剤^MR9P|DVD^14-10||||1|BTL^瓶^MR9P<CR>
RXR|IM<CR>
ORC|NW|2001^ORDER||12345678-2||E|^BID^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^タロウ
^^^^L^P||||||DCG^退院処方^MR9P<CR>
RXO|XXXXXX^BDプラスチックバック注射器 (U-40)^JAN|||HON^本^MR9P|||||28|HON^本^MR9P<CR>
```

## (7) 頓服薬

- ① ポルタレン錠 (25ml) 1錠  
痛い時 10回分 (1日2回まで)

```
MSH|.....<CR>
PID|.....<CR>
ORC|NW|1002^ORDER||12345678-1||E|^PRN^20000825^PRN^PRNpain||||123456^山田^太郎^^^^L^I^ヤマ
ダ^タロウ^^^^L^P||||||OHP^外来処方^MR9P^XTR^臨時処方^MR9P<CR>
RXO|2459123H1188^ポルタレン錠 (25mg)^JMD-199712|1|TAB^錠^MR9P|TAB^錠^MR9P||1日2回まで
||||10<CR>
RXR|PO<CR>
```

## (8) 漸増 (漸減) 投与

- ① ペルマックス錠 (50μg) 1錠  
1日1回 夕食直後 2日分
  - ② ペルマックス錠 (50μg) 2錠  
1日2回 朝夕食直後 3日分
  - ③ ペルマックス錠 (50μg) 3錠  
1日3回 毎食直後 2日分
- (①を服用終了後に②を服用、②を服用終了後に③を服用)

```
MSH|.....<CR>
PID|.....<CR>
ORC|NW|1001^ORDER||12345678-1||E|^Q1D&PCV^D2^20000825||||123456^山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^タロ
ウ^^^^L^P||||||IHP^入院処方^MR9P^ORD^定期処方^MR9P<CR>
RXO|1234567X1234^ペルマックス錠 (50μg)^JMD-199712|1|TAB^錠^MR9P|TAB^錠剤^MR9P|||||2|TAB^
錠^MR9P|||||||1<CR>
RXR|PO<CR>
ORC|NW|1001^ORDER||12345678-1||E|^Q1D&PCM,PCV^D3^20000827||||123456^山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^
タロウ^^^^L^P||||||IHP^入院処方^MR9P^ORD^定期処方^MR9P<CR>
```

RX0|1234567X1234`ベルマックス錠(50μg)`JMD-199712|1||TAB`錠`MR9P|TAB`錠剤`MR9P|1||16|TAB`錠`MR9P|1||1||2<CR>  
 RXR|PO<CR>  
 ORC|NW|1001`ORDER||12345678-1||E|^TID&PC`D2`20000830|1||123456`山田`太郎`L`ヤマダ`タロウ`L`P|1||1||HP`入院処方`MR9P`ORD`定期処方`MR9P<CR>  
 RX0|1234567X1234`ベルマックス錠(50μg)`JMD-199712|1||TAB`錠`MR9P|TAB`錠剤`MR9P|1||16|TAB`錠`MR9P|1||1||3<CR>  
 RXR|PO<CR>

## (9) 隔日投与

- ① プレドニン錠(5mg) 3錠  
 1日1回 朝食後 7日分  
 (1日おきに14日間で服用)

MSH|.....<CR>  
 PID|.....<CR>  
 ORC|NW|1001`ORDER||12345678-1||E|^Q2D&PCM`D14`20000825|1||123456`山田`太郎`L`ヤマダ`タロウ`L`P|1||1||OHP`外来処方`MR9P<CR>  
 RX0|2345678X2345`プレドニン(5mg)`JMD-199712|3||TAB`錠`MR9P|TAB`錠剤`MR9P|1||21|TAB`錠`MR9P|1||1||3<CR>  
 RXR|PO<CR>

## (10) 不均等投与

- ① プレドニン錠(5mg) 7錠(4錠-2錠-1錠)  
 1日3回 毎食後 7日分

MSH|.....<CR>  
 PID|.....<CR>  
 ORC|NW|1001`ORDER||12345678-1||E|^TID&PC`D7`20000825|1||123456`山田`太郎`L`ヤマダ`タロウ`L`P|1||1||OHP`外来処方`MR9P<CR>  
 RX0|2345678X2345`プレドニン(5mg)`JMD-199712|1|4|TAB`錠`MR9P|TAB`錠剤`MR9P|D|DVD`4-2-1||149|TAB`錠`MR9P|1||1||7<CR>  
 RXR|PO<CR>

## (11) 交互投与

- ① プレドニン錠(5mg) 3錠  
 1日1回 朝食後 7日分  
 ② プレドニン錠(5mg) 1錠  
 1日1回 朝食後 7日分  
 (①と②を交互に服用)

MSH|.....<CR>  
 PID|.....<CR>  
 ORC|NW|1001`ORDER||12345678-1||E|^Q2D&PCM`D14`20000825|1||123456`山田`太郎`L`ヤマダ`タロウ`L`P|1||1||OHP`外来処方`MR9P<CR>  
 RX0|2345678X2345`プレドニン(5mg)`JMD-199712|3||TAB`錠`MR9P|TAB`錠剤`MR9P|1||21|TAB`錠`MR9P|1||1||3<CR>

MR9P|||||||3<CR>  
RXR|PO<CR>  
ORC|NW|1001^ORDER||12345678-1||E|^Q2D&PCM^D14^20000826||||123456^山田^太郎^^^L|^ヤマダ^タ  
ロウ^^^L|^P||||||OHP^外来処方^MR9P<CR>  
RXO|2345678X2345^プレドニン (5mg)^JMD-199712|1||TAB^錠^MR9P|TAB^錠剤^MR9P|||||7|TAB^錠  
^MR9P|||||||1<CR>  
RXR|PO<CR>

医療情報交換規格運用指針 MERIT-9  
Medical Record, Image, Text-Information eXchange

**JAHIS**  
**臨床検査データ交換規約**  
**Ver. 2.0**

Copyright©2000

保健医療福祉情報システム工業会  
日本 HL7 協会  
日本医療情報学会 MERIT-9 研究会

平成 12 年 4 月  
保健医療福祉情報システム工業会  
臨床検査システム委員会

# JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0

## まえがき

1993年、(財)医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)臨床検査データ交換標準化協議会により「臨床検査データ交換規約(暫定版)」が発表された。その後、約1年間で30件以上におよぶ使用実績を見た。しかしながら、幾多の課題も見受けられた。

そこで保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)臨床検査センターシステム専門委員会では、その使用経験に基づき、課題や要望を抽出整理した。その結果、課題の一部は、仕様の解釈が不十分なことに起因していると考えられた。そこで平成6年度に、課題の共通認識と解決方法・注意点などを討議した結果、円滑な導入を図るため「臨床検査データ交換規約(暫定版)利用ガイド」をまとめ、発表した。

平成7年度より課題の根本的解決と医療情報の標準化動向に沿った臨床検査データ交換規約の検討にはいり、標準化動向の調査学習をすすめた。平成8年度に臨床検査システムホスト接続WGと共同でDRAFTバージョンを発表し、意見収集を行った。平成9年度、関係諸先生方の多数のご意見やHL7をはじめ関連規約との調整をはかり「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.1.0」をまとめるに至った。さらに、HL7 V2.3.1に準拠し、マスターファイル通知メッセージの章を加えた、Ver2.0を発表するものである。

本規約は、医療情報の標準化動向を見極めながら臨床検査のみならず保健医療福祉情報システム全体のデータ交換体系に留意し、次世代かつワールドワイドに通用するものとし、院内オーダリングや病医院-臨床検査センター間をはじめ、さまざまな医療関連施設相互間に適用できるよう検討し、まとめたものである。

本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換円滑化に多少とも貢献できれば幸いです。

2000年4月

保健医療福祉情報システム工業会  
臨床検査システム委員会

### << 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2000

保健医療福祉情報システム工業会

日本HL7協会

日本医療情報学会 MERIT-9 研究会

# 付録 B.

## 医療情報交換規約運用指針

### MERIT-9での扱い

#### B.1 MERIT-9とは？ (MERIT-9 Home Pageより引用)

患者情報の交換を、診療施設間で行うことの必要性は言を待たないが、これがシステム間で実装されている例は少なく、それも異種(異社)システム間では極めて稀である。これは、用いる用語、用いる記述文法、用いるファイル形式、情報伝達手段など、数多い階層において、相互間で合意がなされなければ、システム間では情報が移転しないためである。

ファイル形式として利用出来る優れたものとしては、主として画像用のDICOM、主として患者基本情報や各種オーダ、各種検査結果用のHL7、診療録2号様式に基づいた診療録記載のMMLなどが存在する。しかし、診療施設間情報提供紹介状ひとつとっても様々なケースがあることを考えると、これらの内、どれか一つだけを利用することは現実的ではなく、これらをうまく組み合わせて利用することが望ましい。

そこで平成8年度～11年度の厚生科学研究等により、診療施設間での患者情報の交換のための、各種の規格の運用指針MERIT-9 (MEdical Record, Image, Text, - Information eXchange)が木村通男(浜松医大)らにより策定された。この成果をうけ、さらに日本医療情報学会MERIT-9研究会によって、平成11年度には、ユースケースを「診療情報提供紹介状」「外注検査依頼/結果報告」「院外処方せん」に絞り、実装が進められている。特に、紹介状について、独自のXML-DTDを作成し、これから外部のHL7ファイル(処方、検査結果)やDICOM、JPEGファイル(画像)を外部参照する形で、診療施設DB間情報交換の形式となっている。

現在、MERIT-9規格は、日本医療情報学会MERIT-9研究会において、仕様の策定、メンテナンスがおこなわれている。この研究会は、診療情報交換規約運用指針 MEdical Record Image Text - Information eXchange 略称MERIT-9(メリットナイン)の策定、普及、運用などをサポートするために活動している。

代表幹事：木村通男 (浜松医科大学医学部附属病院医療情報部)

事務局：〒431-3192 静岡県浜松市半田町3600番地 浜松医科大学医学部附属病院医療情報部  
TEL: 053-435-2770, FAX: 053-435-2769, E-mail: info@merit-9.mi.hama-med.ac.jp

注：MERIT-9の詳細については <http://merit-9.mi.hama-med.ac.jp/>を参照のこと

#### B.2 MERIT-9での臨床検査依頼・結果報告記述

医療情報交換規約運用指針MERIT-9(Medical Record Image Text - Information eXchange)では、ユースケースに応じたXML-DTDを用い、標準的規約の検討が進んでいる放射線画像、臨床検査、薬剤処方なども包括的に取り扱うものである。この中で、臨床検査依頼・結果報告は、外部ファイル参照として定義される。参照されるファイルはHL7に準拠したJAHIS臨床検査データ交換規約に基づきコーディングしたものとする。

##### B.2.1 MERIT-9 XML-DTDによる臨床検査結果の記述

```
MREF      CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3.1-HL7ER2.3.1"  
          EXAM-DATE="yyyymmdd"  
          REF=" url (file://path name/file name.HL7) "
```

上記のアトリビュートはすべて必須である。EXAM-DATEには検査結果ファイル中の代表されるOBR-7と同値の検査日や検体採取日を記述する。REFには参照先ファイル名をURL標記で記述する。ファイル名は互換性を考慮し英字で始まる英数字8文字以内とすることを推奨する。拡張子はHL7とする。なお、HL7ファイルからさらにファイルが参照される場合がある。

## B.2.2 MERIT-9 診療情報提供書(紹介状)における臨床検査結果 記述例

HL7(JAHIS臨床検査データ交換規約)準拠した臨床検査報告ファイルoal001.hl7およびoal002.hl7を含む紹介状の記述例を挙げておきます。診療情報提供書XML-DTD Ver.1.01は1999年秋に発表されたものである。Ver.2は厚生省委託事業データ項目セット検討委員会の成果によるデータ項目セット(作業中)に準拠し検討中のものである。詳細は<http://merit-9.mi.hama-med.ac.jp/>を参照のこと  
診療情報提供書XML-DTD Ver.1.01の場合

```
< MERIT9 >
  < PATIENT-REFERRAL >
    < HEADER >
      < TITLE > 診療情報提供書見本 </TITLE >
      < PURPOSE-CODE > ..... </PURPOSE-CODE >
      < TRANSMISSION-FROM > ..... </TRANSMISSION-FROM >
      < TRANSMISSION-TO > ..... </TRANSMISSION-TO >
      < DATE-ISSUED > 20000331 < DATE-ISSUED >
    </HEADER >
    < PATIENT >
      < PERSON-NAME >
        < FAMILY-NAME > 大塚 </FAMILY-NAME >
        < GIVEN-NAME > 太郎 </GIVEN-NAME >
        < TYPE-CODE > L </TYPE-CODE >
        < REPRESENTATION-CODE > I </REPRESENTATION-CODE >
      </PERSON-NAME >
      .....
    </PATIENT >
    < REFERRAL-PURPOSE > ..... </REFERRAL-PURPOSE >
    < PRESENT-ILLNESS > ..... < PRESENT-ILLNESS >
    < PRESENT-EXAMINATION-RESULT TYPE="LABORATRY" >
      < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3.1-HL7ER2.3.1"
        EXAM-DATE="20000325" REF="file://PID001/oal001.hl7" />
      < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3.1-HL7ER2.3.1"
        EXAM-DATE="20000325" REF="file://PID001/oal002.hl7" />
    </PRESENT-EXAMINATION-RESULT >
    < PRESENT-MEDICATION > ..... </PRESENT-MEDICATION >
  </PATIENT-REFERRAL >
</MERIT9 >
```

診療情報提供書XML-DTD Ver.2の場合

```
< MERIT9 >
  < PATIENT-REFERRAL >
    < REFERRAL-HEADER >
      < REFERRING-FROM > ..... </ REFERRING-FROM >
      < REFERRING-TO > ..... </REFERRING-TO >
      < ReferralDate > 20000331 </ReferralDate >
    </REFERRAL-HEADER >
    < PATIENT >
      < PATIENT-NAME >
        < PatientWholeName > 大塚 太郎 </PatientWholeName >
        < PatientFamilyName > 大塚 </PatientFamilyName >
        < PatientGivenName > 太郎 </PatientGivenName >
        < PatientWholeNameinKana > オオツカ タロウ </PatientWholeNameinKana >
        < PatientFamilyNameinKana > オオツカ </PatientFamilyNameinKana >
        < PatientGivenNameinKana > タロウ </PatientGivenNameinKana >
      </PATIENT-NAME >
    </PATIENT >
  </PATIENT-REFERRAL >
</MERIT9 >
```

```

.....
</PATIENT >
< ReferralReason > ..... </ReferralReason >
< PRESENT-ILLNESS > ..... < PRESENT-ILLNESS >
< PRESENT-EXAMINATION-RESULT TYPE="LABORATRY" >
  < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3.1-HL7ER2.3.1"
    EXAM-DATE="20000325" REF="file://PID001/oal001.hl7" />
  < MREF CONTENT-TYPE="APPLICATION/HL72.3.1-HL7ER2.3.1"
    EXAM-DATE="20000325" REF="file://PID001/oal002.hl7" />
  < ExaminationFindingsFreeContent >
    組織診による同定が必要と見受けられます。
  </ExaminationFindingsFreeContent >
</PRESENT-EXAMINATION-RESULT >
< PRESENT-MEDICATION > ..... </PRESENT-MEDICATION >
</PATIENT-REFERRAL >
</MERIT9 >

```

## B.3 医療情報交換規格運用指針MERIT-9 臨床検査データ交換

### B.3.1 適用

病院・診療所や臨床検査センターなどの医療関連施設間相互に臨床検査(検体検査)の依頼や結果のやり取りを電子的に行う場合の運用指針とする。

### B.3.2 構成

臨床検査依頼や結果報告は会話型でなく当面ファイルで行うものとする。ファイルは封筒に相当する見出しファイルと検査情報ファイルおよびその参照ファイルから構成される。使用環境によっては見出しファイルは省略可とする。MERIT-9準拠の受信側は見出しファイルの有無にかかわらず対応できるものとする。これらファイルを区別するために見出しファイルの拡張子を“F10”、検査情報ファイルを“HL7”とする。見出しファイルは現在検討中であるがXMLを用いたような情報が盛り込まれる予定である。

宛先：

差出人：

内容：検体検査

患者：特定／複数

抽出期間：From、To

メッセージ型：依頼／結果／両方

形式：HL7V2.3.1 (JAHIS臨床検査データ交換規約)

メッセージファイル名：

暗号化：有／無

メッセージ作成日：

検査情報ファイルはJAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0によるものとする。詳細は「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0」およびその改訂速報を参照のこと。

これらファイル以外に検査情報ファイルから参照されるファイルが含まれる場合がある。



20001124

これ以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので下記の  
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

**「研究成果の刊行に関する一覧表」**

**標準化**

木村通男

医療情報学 20(Supple 2) 23-29

**DICOM で使うコード**

渡辺宏樹

医療情報学 20(Supple 2) 893-894